



INA FOOTBALL CLUB NEWS

Est. 1987

第3号

大会(公式戦)結果 報告

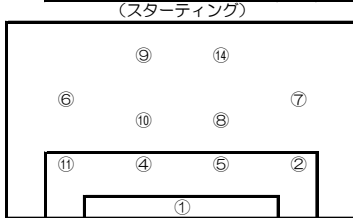
○ 平成30年度 インターハイ〔総体〕(地区～県大会)

(大会登録選手)

(県西地区予選-25名)							
背番	位置	名前	学年	背番	位置	名前	学年
1	GK	根本海	3	14	FW	栗原	3
2	DF	高桑	3	15	MF	根本聖	2
3	DF	小松崎文	2	16	MF	岩田	1
4	DF	柴田	3	17	MF	鈴木	2
5	DF	静野	3	18	MF	鷲田	3
6	MF	中野	3	19	DF	村下	2
7	MF	井坂	2	20	DF	倉持嶺	3
8	MF	小菅	2	21	GK	小島	3
9	FW	西ノ原	3	22	DF	金子	2
10	FW	宮崎	3	23	DF	佐賀	3
11	FW	山本	3	24	FW	薦	3
12	GK	板並	3	25	MF	江口裕	3
13	DF	倉持侑	3				

(茨城県大会-30名)							
背番	位置	名前	学年	背番	位置	名前	学年
1	GK	根本海	3	16	MF	岩田	2
2	DF	高桑	3	17	MF	鈴木有	3
3	DF	小松崎文	2	18	MF	鷲田	3
4	DF	柴田	3	19	DF	倉持嶺	3
5	DF	静野	3	20	DF	金子	2
6	MF	中野	3	21	GK	小島	3
7	MF	井坂	2	22	MF	佐賀	3
8	MF	小菅	2	23	DF	小磯	3
9	FW	西ノ原	3	24	MF	江口裕	3
10	MF	宮崎	3	25	DF	薦	3
11	MF	山本	3	26	DF	江口隼	3
12	GK	板並	3	27	MF	高野	3
13	DF	倉持侑	3	28	DF	上沢	3
14	FW	栗原	3	29	DF	若倉	3
15	MF	根本聖	2	30	MF	杉田	3

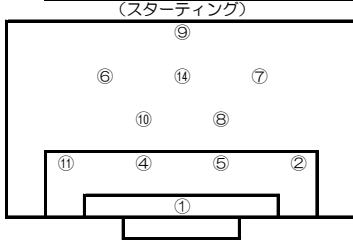
① 県西地区予選2回戦 対 合同 (結城I・II、若井、明野、三和) 平成30年5月17日(木) 鹿窪運動公園G



(戦評) 前半、合同のワントップやCBのロングスローに押し込まれる場面もあり苦しい展開で時間が過ぎた。伊奈は前半20分を越えた辺りから落ち着きを取り戻し、ポゼッションが上がり相手ゴール前に詰め寄る場面も増えてきたが、決め手を欠き前半はスコアレスで折り返した。伊奈は後半開始から早い出足でゲームを支配すると、⑨西ノ原が得点しペースを掴んだ。その後⑨西ノ原の追加点が生まれ、伊奈が勝利した。

(結果) 前半0-0、後半2-0、計2-0、勝利 →代表決定戦進出

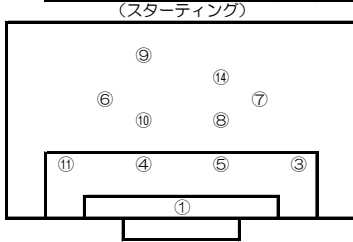
② 県西地区予選代決 対 下館一高 平成30年5月22日(火) セキショウチャレンジスタジアム



(戦評) 伊奈は前半から試合を優位に進めるも、再三の決定機を外し、中々波に乗れない状況が続いた。そんな中、前半20分過ぎ、主将⑩宮崎のゴールで先制し、嫌な雰囲気晴れるかと思いきや、結局、試合終了まで追加点を挙げる事ができず、県大会に向け不安の残る内容で地区予選を終了した。

(結果) 前1-0、後半0-0、計1-0 勝利 →県大会 進出

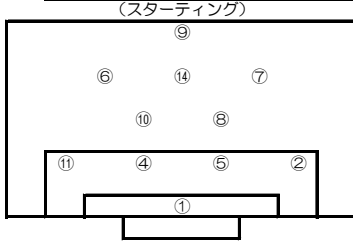
③ 県大会 1回戦 対 藤代高 平成30年6月2日(土) 鹿島学園G



(戦評) 酷暑の中、ゲームは開始早々から動く。伊奈は⑨西ノ原の先制ゴールで辛良くスタートしたが、すぐに追いつかれる。何とか③小松崎のゴールで1点リードで折り返すが、後半もパツとしない伊奈高イレブン。ミスが続く、波に乗れない状況で⑥中野がゴールし2点差にするもDF陣の修正が効かず、CKから1失点。さらにアディショナルタイムにまさかの失点をし試合は延長、PK戦へ。伊奈は何とか全員が決め、PK戦を制し2回戦進出を決めた。

(結果) 前半2-1、後半1-2、延長：前0-0後0-0 PK4-2 勝利 →2回戦進出

④ 県大会 2回戦 対 日立一高 平成30年6月4日(月) 鹿島ハイツG



(戦評) 日立一高との2回戦。伊奈は、前戦の悪い状況を払拭できるかが鍵。伊奈は開始からゲームを支配し自分たちのペースでサッカーをするも、日立DF陣の強固な壁を崩せずに、時折DFラインからのロングボールによるカウンターに苦しめられる展開。一進一退のまま前半を折り返す。後半になっても状況は変わらないまま延長戦へ。疲労も蓄積し互いに決め手を欠き続けPK戦に突入。伊奈はキッカーが精度を欠き決められず、日立に勝利を献上する形になった。

(結果) 前0-0、後半0-0、延長：前計0-0後0-0、PK1-4 敗退 →県大会ベスト30

監督室から

古豪・強豪である日立一高に勝てるチャンスがありながら、その好機をものにすることができませんでした。前戦の藤代戦で崩壊したDFラインを含めた守備の意識改革に失敗した結果、攻撃にも運動性がなく、単発になってしまったのかなと痛切に後悔しています。この試合で引退する3年生14名には、本当に申し訳ない思いで一杯です。この悔しさをバネに選手権大会、リーグ戦、フットサルでは結果が出るよう、残ってくれた3年生を中心に頑張っていきたいと思います。保護者・OBの皆様におかれましては、引き続きご支援・ご協力の程宜しくお願い致します。(監督 杉山利之)